

第2次江田島市総合計画審議会（第3回）要点録

開催日時	平成25年12月26日（木）午後2時～4時5分
開催場所	江田島市役所 本庁 2階会議室
出席者	<p>■ 審議会委員（敬称略）</p> <p>城田 俊彦 広島県過疎地域振興課 課長 樋上 美由紀 江田島市教育委員会 委員（審議会副会長） 小方 憲三 江田島市自治会連合会 会長 前田 政子 江田島市老人クラブ連合会 副会長 青木 博美 安芸地区医師会江田島ブロック ブロック長 大石 君枝 江田島市社会福祉協議会 理事 村上 浩司 江田島市農業委員会 委員 中谷 隆 県立広島大学 教授（審議会会長） フンク カロリン 広島大学 准教授</p> <p>■ 江田島市</p> <p>正井 嘉明 副市長</p> <p>【事務局：総務部企画振興課】</p> <p>亀田 浩司 企画振興課 課長 仁城 靖雄 企画振興課 課長補佐 道本 浩二 企画振興課 主任</p> <p>【事務局：株式会社地域計画工房】</p> <p>山下 和也</p>
欠席者	<p>■ 審議会委員（敬称略）</p> <p>藤田 里子 江田島市女性会連合会 副会長 富田 美保 江田島市PTA連合会 母親代表 久保河内 鎮孝 江田島市漁業振興協議会 会長 宇根川 昭男 江田島市商工会 副会長 伊藤 富美雄 江田島市観光協会 会長</p> <p>■ 江田島市</p> <p>土手 三生 総務部 部長</p>
傍聴者	2人
会議次第及び資料	<p>会議次第</p> <p>1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項</p> <p>（1）パブリックコメントについて【資料1】 （2）基本構想案住民説明会について【資料2-1, 2-2】 （3）第2次江田島市総合計画の基本構想案について【資料3-1～3-2】 （4）その他</p> <p>4 閉会</p> <p>【資料】</p> <p>資料1：パブリックコメントについて 資料2-1：基本構想案住民説明会について 資料2-2：基本構想案住民説明会における意見への対応（案） 資料3-1：第2次江田島市総合計画～基本構想案～【要約版】 資料3-2：第2次江田島市総合計画～基本構想案～</p>

会 議 記 録	
事務局	<p>1 開会</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりくださりまして誠にありがとうございます。</p> <p>会議を開催するに先立ち事務局から、本日の会議資料について、ご確認くださいませようお願いいたします。</p> <p>資料は、次第、資料1から資料3-2までございます。また参考資料として前回の議事録をつけています。もし、ないようでしたら事務局にお申し付けください。</p> <p>本日の会議も、これまでの会議と同様に議事録を作成いたしますので、録音をさせていただきます。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまより第2次江田島市総合計画審議会の第3回会議を開催いたします。審議会は次第にそって進めさせていただきます。</p> <p>それでは、中谷会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>皆さん、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>今回で3回目の審議会となり、次第にありますように、パブリックコメント、住民説明会を開催し、基本構想をまとめる段階に入っています。</p> <p>出席者の皆さまには、忌憚のない意見を出していただければと思っています。</p> <p>協議の前に、今回初めて参加されます広島大学のフंक カロリン先生に自己紹介をしていただければと思います。</p>
委員	<p>初めて参加します広島大学のフंक カロリンです。専門は観光地理学で、観光地の発展などを研究しています。よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議には14名中、出席者は9名、欠席者は5名となっています。よって、江田島市総合計画審議会条例第2条第2項の規定により委員の2分の1以上の出席がありますので、会議成立の定数に達していることをご報告させていただきます。</p> <p>それでは審議会条例第7条3項に会長は会議の議長となるとありますので、ここからの進行は会長へお願いします。</p>
会長	<p>3 協議事項</p> <p>それでは、次第に従いまして協議を進めていきたいと思っております。</p> <p>早速ではありますが、協議事項の1番目でございます「パブリックコメントについて」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(1) パブリックコメントについて【資料1】</p> <p>それでは資料1をご覧ください。</p> <p>（「パブリックコメントについて」説明）</p> <p>※内容は資料1のとおり</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>非常に熱心なコメントをいただいております。またこれに対する市の考え方について、ご意見はいかがでしょうか。</p> <p>基本的には、基本計画・実施計画を策定するうえで参考になるのではないかと考えられます。</p> <p>基本構想なので、具体的な施策・事業などは盛り込んでいませんが、絵に描いた餅と言われなかったのは良かったかもしれません。</p> <p>基本構想として、コンセプトやイメージは共有したいと考えています。</p>

【平成25年12月26日：第2次江田島市総合計画審議会（第3回）要点録】

委員	<p>広島湾架橋の問題は、文字を入れるだけでは、絵に描いた餅でむなしい言葉と言えるので、取組というものをどう展開するのかを考えていただきたい。</p> <p>広島湾架橋は、20数年前、ポートアイランド構想のときに出てきた構想。そのとき3F（フルーツ・フラワー・フィッシュ）も出されています。</p> <p>広島湾架橋については、その後、何の取組もしていないと思います。当時の各町も議会も取り組んでいない。このままでは夢物語で終わることが考えられます。</p> <p>架橋が実現すれば、船の問題は解決し、広島市のベッドタウンとしての位置づけも現実のものとなると考えられます。</p> <p>また、津久茂架橋だけでは効果が薄いですが、ポートアイランド構想が実現してはじめて、江田島市にも経済効果など出てくるというものです。</p>
事務局	<p>広島湾架橋構想は10年間進んでいません。ただし、何もしていないというのではなく、江田島市単独でできる事業ではないので、津久茂架橋と合わせて、毎年県知事をお願いにしています。</p> <p>そうした中で、経済情勢などもあり、なかなか実現していないのが現実です。</p> <p>パブリックコメントで出された意見であり、また江田島市の悲願でもあり、住民から強い要望があるということは、我々としても認識しなければならない問題であり、基本構想に盛り込んでいきたいと考えています。</p>
会長	<p>広島湾架橋は津久茂架橋も含めて考えられているということで良いでしょうか。</p>
事務局	<p>ともに国道487号のルートであり、広島湾架橋と津久茂架橋は一体として考えています。</p>
会長	<p>ハードルの高い課題と言えますが、アドバルーンを上げておかないといけないと思います。</p> <p>広島市など関係する自治体との協力も必要になります。</p>
委員	<p>当時、広島市は、東西軸に力を入れており、南北軸に力を入れる余力がなかった実情があります。</p>
会長	<p>江田島市そのものが魅力的にならないと、架橋の実現は難しいといえます。</p> <p>魅力をつくって、橋を架けさせてくれと言わせるようにすることが大切です。</p> <p>ただし、道路、橋をつくるとすぐ良くなるというものではないかもしれません。</p>
委員	<p>直接の担当ではありませんが、公共事業については、財政健全化ということと社会資本整備プランをつくって、コストを抑えながら、どのぐらい投資でき、どこから手を付けるかという観点から、優先順位をつけています。</p> <p>その際、県だけで考えるのではなく、市町の意見も聞いて検討しています。</p>
会長	<p>20年前とは状況が違っていることとして、広島市では高速3号などができています。</p> <p>将来的にそれらとつなぐためにも、架橋に関するアドバルーンは上げておく必要があると言えます。</p>
委員	<p>今回は基本構想なので、大きな方向性を示すことになります。</p> <p>パブリックコメントの意見に関しては、具体的な提案であり、今後、その具体化などを検討することになると思います。</p> <p>市民参加を色々されていますが、パブリックコメントに関しては3件にとどまっています。ホームページへのアクセス件数がどのぐらいでしょうか。</p> <p>市民参加を促進する方法としては、どのような取組を行われたのでしょうか。</p>
事務局	<p>市民参加を促す方法としては、12月号の広報に総合計画の特集を組み、アンケート調査結果も知らせています。</p> <p>ホームページを利用しない人を想定して、説明会を開催しています。</p>
委員	<p>さらに市民の方が関心を持てるような取組を考えていただきたいと思います。</p>

【平成25年12月26日：第2次江田島市総合計画審議会（第3回）要点録】

会長	<p>ホームページを通じた回答は何件でしょうか。…（事務局）メール2件，手書き1件もう少しアナウンスや広報での努力・工夫は必要かと思われます。</p> <p>中高一貫教育も，具体的な施策として検討していただければと思います。</p> <p>では，次に「基本構想案住民説明会について」協議を進めたいと思います。最初に事務局から資料の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（2）基本構想案住民説明会について【資料2-1，2-2】</p> <p>それでは資料2-1，2-2をご覧ください。</p> <p>（「基本構想案住民説明会について」説明）</p> <p>※内容は資料2-1，2-2のとおり</p>
会長	<p>住民説明会での意見の反映は，この後の基本構想案の説明にもあると思いますが，コメントはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>住民説明会が25人，パブリックコメントが3人なので，市民参加がそれほど浸透しているとは言えないと思います。</p>
事務局	<p>広報で特集を組んだり，各種団体に呼び掛けたりして，できることはしていますが，結果としては参加者が多いとは言えませんので，今後，さらに努力すべきと考えています。</p> <p>今回は，基本構想ということ，具体的な関係を見出しにくい面があったのではと思います。</p> <p>基本計画の段階では，より具体的な切り口でワークショップの開催を予定しています。</p>
会長	<p>基本構想は，どの市町においても市民の関心が持ちにくい面があります。</p> <p>基本計画の中では，ワークショップなどを通じて，若い人を含め，どんどん参加していただき，意見を出し合っていただきたいと願っています。</p> <p>基本計画のときは，様々な意見が出てきて収集できない面もあるかもしれませんが，無理やりまとめようとしなくてよいと思います。</p> <p>基本計画での市民参加としては，どのような方策を考えていますか。</p>
事務局	<p>ワークショップがメインになると考えています。</p>
会長	<p>ワークショップは，いろんな地域で行ってほしいと思います。</p>
事務局	<p>先ほど，ご意見のあったホームページの訪問者数は，直近の1か月に約28,000人となっています。</p> <p>ページビューとしては約11万ページです。</p>
会長	<p>ホームページにふるさと納税をセットで見られるようにすると良いと思います。</p> <p>ホームページは，江田島市民だけでなく，出身者なども見ている可能性は高いはずですが。</p> <p>それでは，「基本構想案」についての協議に入りたいと思います。</p> <p>では，パブリックコメントや住民説明会を踏まえて修正されている基本構想案を説明してください。</p>
事務局	<p>（3）第2次江田島市総合計画の基本構想案について【資料3-1～3-2】</p> <p>それでは，第2次江田島市総合計画基本構想素案について説明をいたします。資料3-1と資料3-2をご覧ください。</p> <p>（基本構想案の説明）</p> <p>※内容は資料3-1，3-2のとおり</p>
会長	<p>前回からの修正点を含め，基本構想案についてご意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>良いと思います。</p>
委員	<p>観光の島と言って40年になりますが，古鷹山に山火事があってから，林道はつくってありますが，管理や活用が全く来ていない状況です。</p> <p>昔は海上自衛隊の人が，サクラを植えていましたが，今ではそれは無くなり，トイレも十分ではありません。</p> <p>その一方で，山頂からの景観は素晴らしい。</p>

【平成25年12月26日：第2次江田島市総合計画審議会（第3回）要点録】

会長	内田康夫の小説の舞台にもなっています。
委員	大須などから上がることができますが、看板もなく整備（維持管理）もされていません。火災の後、消防車が入れるよう林道を整備しましたが、全く管理されていない状況で、道路のメンテナンスもできていません。 観光の島とするなら、そういうところをアピール出来るようにすべきと思います。
会長	実施計画の段階では、優先順位をつける必要があります。 人に来てもらう観光は、優先順位が高いのではないかと考えています。 基本構想案に「観光」を入れたことは、行政の姿勢と捉えています。
事務局	山に関しては、今日の資料の土地利用構想の中で、江田島6峰ということでゾーンづくりをしていくことで方向づけています。 未来を切り開く「絵になる島」ということで、意見を反映し、絵に描いた餅にならないようにしていく必要があると考えています。
委員	医師会では医療・介護において人が足りない状況です。 医師会では、秋月の土地を借りて准看護学院をつくっていますが、応募が定員の倍になっています。これを少し支援していただきたい。今はボランティアで取り組んでいます。学校というものは非常に経済効果があります。 例えば、広島大学が移転した後の千田町など一帯は、かなりの打撃を受けています。江田島においては特色ある学校づくりを工夫することが、良いのではないかと、活性化につながるのではと考えています。
会長	広島大学が移って、千田町一帯だけでなく、江田島市にも影響していると思います。以前は、学生が江田島市にサイクリングなどで訪れていました。 学校に関しては、パブリックコメントにもありましたが、広島県も高屋での取組が良いということもあり、中高一貫教育を進める方向にあります。誘致というものもあるのかなとも思います。
委員	先ほどの架橋のことですが。主体は国ですか。 津久茂架橋は東京湾架橋の1スパンでできるようなものではありません。
委員	国道487号を含め、中央幹線以外の国道は、県が担うことになります。 東京湾架橋も交通量や経済効果を考えてつくっているはずで、そうした視点も必要になります。
会長	何かほかにご意見はありますか。
委員	気になっていることがあります。 能美町の棧橋には、有料のレンタル自転車が分かるように置いてありますが、三高の棧橋には、有料の自転車が見当たらないように思いますが、どうでしょうか。 フェリーから上がった人は、自転車そのものがないと利用するのが分からないと思います。
事務局	三高にも有料自転車を置いていますが、スペース面から倉庫に置いています。 （担当部署で確認し、回答） 有料自転車は、すべての港で建物内に置いています。 このうち三高港は、スペース的な問題で、もう一つ中に置いているということです。
委員	大柿高校を残すためには、看護師が不足する状況を踏まえ、医療関係の科目を取り入れることが必要と考えます。 教科の中に医学・看護を入れることを市から県に働き掛けていただけないでしょうか。 小中一貫教育も大切です。
委員	皆実高校は、看護教育を取り入れています。
会長	皆実高校も、看護を学んだ生徒が就職で県外に出ていくケースが多いのですが、少し残ってくれるだけでも良いと思います。

【平成25年12月26日：第2次江田島市総合計画審議会（第3回）要点録】

委員	<p>前は、「恵み多き島」はいい言葉とっていました。</p> <p>引っかかるのは、「え・た・じ・ま」は島外の人を対象としていることです。</p> <p>また、教育・文化、地域などの7つの柱は、住民一人ひとりが求めていることかもしれませんが、大きすぎるテーマのように感じます。また、観光ということは理解できますが、楽しめる島、また来たい島などは同じように感じるし、「協働、住みよき、つながり」もきれいごと過ぎるような感じかもしれません。</p> <p>一人ひとりの市民の思いや言葉が出せないか、私自身見いだせていませんが、漠然と遠くからみた感じがして・・・日々の生活の中から「楽しめる島」とかにつながるのかな。そのように思っています。</p>
事務局	<p>まちづくりの基本戦略は、2本柱で構成しており、住んでいる人に焦点を当てているのが「市民満足度の高いまちづくり」で7つの柱を立てています。基本構想なので、この段階では具体論（事業など）は出していません。</p> <p>その一方で、それだけでは次の展開・発展が開けないので、主として外に向けて「未来を切り開くまちづくり」を掲げています。</p> <p>市民にとっての住みやすさなどに関しては、市民満足度70点以上を目指すという大きな方針を出しています。</p>
委員	<p>市民が自分のこととして、どう捉えるかが大切になります。</p> <p>江田島市教育ビジョンの「島から世界へ」は、市民に浸透しやすい言葉とっています。</p> <p>市民一人ひとりの立場で捉えていけるキャッチフレーズがあればと思っています。</p>
委員	<p>P31の7つの柱は内向け、未来を切り開くは外向けということでしょうか。</p> <p>表の矢印について、内向け（島へ）と外向け（世界へ）をもう少し明確したらいいのかもしれない。</p> <p>みんなで作る島を、「島へ」「世界へ」などとアピールしても良いかもしれません。</p>
会長	<p>P31の図を見て、外向け、内向けを意識できるようにすることが考えられます。</p>
委員	<p>P25を実現するとすれば、美しさは自然や島、そのためには人の努力が必要となります。</p> <p>「絵になるまち（島）をつくりましょう」という、みんなの課題となります。</p> <p>P20の基盤部門に関しては、「維持管理が大きな課題となりますが、未整備区間等の計画的な整備を進めます」とあるのは、維持管理の大きな課題をそのままとして未整備区間を整備するように見えます。未整備区間の整備は、かなりの負担が必要です。未整備区間の整備を強く出さない方が良いかもしれません。</p> <p>P21のUJIターンの受け入れ体制は、何を指すのでしょうか。行政が受け入れ体制をつくっても、想定とは別の生活パターンの人があると、うまくいかなくなります。受け入れ体制は、行政がつくるのではなく、関係する雰囲気やもてなしを含め、住民の参加が必要となります。</p>
会長	<p>住民、地域の人が、外部から人を呼び込むための努力が必要になります。</p> <p>横断幕から空き家の整備まで、住民が作り直す努力が必要です。</p> <p>そのことが、受け入れる雰囲気になり、地域の人へのアピールにもなります。</p>
委員	<p>P30の土地利用構想図は、基本構想ではこれで良いと思いますが、具体化の段階では、海に近づける場、山の斜面の廃屋の有無など、自分の持っている土地においてどのようなことを行うか（行えるか）などを各ゾーンに説明を加えて取り組む必要があります。</p> <p>また交流人口の観光客の数値目標は、ちょっと難しいのではないのでしょうか。正確に数えているわけではないので、こういう目標はない方が安心かもしれません。</p>

【平成25年12月26日：第2次江田島市総合計画審議会（第3回）要点録】

委員	<p>住民説明会のNO.13の意見にある自治会や女性会などの実態や今後のあり方に関する意見は重要で、まちづくりは行政だけでは出来ないことがあるので、県としても何かできるか、仮説を立てながら考えています。</p> <p>NO.16にある自治会については、しっかりと盛り上げていただくことが重要であると認識しています。</p> <p>P8のまちづくりの課題に「選択と集中が不十分であったこと」が追加修正されています。これが課題となれば、「部門ごとの満足度を上げる」こととの整合性をとっておくことが必要と考えます。</p> <p>県も難しい目標を立てて、施策・事業に取り組んでいます。何をどうすれば目標を達成できるか考えていかなければなりません。</p> <p>観光については、ターゲットをきっちり出して、それを積み上げていかないと絵に描いた餅になりかねません。</p> <p>人口も、どうしたら23,000人をキープできるか、自然減、社会減の要因は何か、掘り下げていくことが大切です。</p> <p>市民満足度70点により、市民の皆さんの生活がどうなるかを分析して欲しいと思います。満足度は市民それぞれ違いますが、「恵み多き島」を、市民に見えるようにする必要があります。</p> <p>県としても、自治組織の活性化として何が出来るかを考え、支援していきたいと考えています。</p> <p>広島県の人口は、大学進学で出ていく現実があります。東京、大阪などに出て行くと、就職のとき、多くは広島に帰ってこないことになります。</p>
委員	<p>自治会の実態を知っていただいているのではないかと思います。</p> <p>江田島市には自治会が31あります。市民が持続可能な協働のまちづくりを目指し、6自治会でまちづくり協議会を設立しています。自治会をキーにして、女性会などに入ってもらい、自治を進めています。</p> <p>これからは、すべての自治会で、まちづくり協議会の設立を目指します。</p> <p>協働のまちづくりということなので、行政の手伝いという役割が多いかも知れませんが、地域の課題に取り組みつつあります。</p>
会長	<p>広島県は、中山間地域を中心に、住民の自治組織をつくることが課題となっています。</p>
委員	<p>江田島市の課題は、自治活動の拠点となる施設がないことです。</p> <p>公共施設のあり方検討委員会では、空いた学校、保育所を活用して拠点をつくることも検討しています。</p>
会長	<p>拠点づくりに関しては、一般的には行政の役割が大きいと言えます。</p> <p>自然発生的な場があれば、そこを拠点とすることもあります。なかなか難しい面があるので、何らかの仕掛けが必要になると思います。数値目標のような考えもあると思います。</p> <p>自治に関しては、ワークショップを多く行い、その中から、地域住民の絆を再確認したり、認識を持っていただいたりして、地域として自分たちで何をしたいか、何が出来るか、何が出来ないかを出していただく。そうした積み重ねが自治組織につながっていくと思います。</p>
委員	<p>住民感情などもありますので、地道にやっていくことも大切です。</p> <p>強制的に同じような組織をつくるのではなく、主体的な取組が必要です。</p>
会長	<p>基本計画、実施計画をつくる段階では、ボトムアップ型の取組に心がけていただきたいと思います。</p> <p>優先順位を付けるとき、効果的なものは何か、行政マンとしての力量が問われることになります。</p> <p>また、優先順位を住民に説明する努力も求められます。</p>

【平成25年12月26日：第2次江田島市総合計画審議会（第3回）要点録】

委員	サイクリング客は、三高、切串からが多くなっています。 サイクリングで島内を廻ると、パンクすることもあります。パンクを直す場所はありませんが、休日などは店が開いていない場合があります。 休日でもパンク修理が出来る場を伝える仕組みがあればと思っています。 合わせて、弁当や食事の場を伝達する仕組みも必要です。 真道山など観光資源がありますが、整備されていません。道はこの先進むことが出来るか不安を感じます。きれいなトイレがないこと、頂上の表示も見えにくいなどの問題もあります。
会長	新しいものをつくるだけではなく、現在あるものを再整備することが大切になります。
事務局	自転車のパンク修理に関しては、商工観光課で修理する場の確保などに取り組んでいます。
委員	どこでも地域起こしが競争になっています。江田島市がいかにか知恵を出すか、自治会が柱にならないといけないと思います。 B級グルメなどに地域として取り組むことが考えられます。 4町を一つにすることは難しいことですが、一つにまとめることが大きなテーマと考えています。
会長	江田島市の中の地域間の競争も、活性化には大切と考えます。 若い人などは、何かをやりたい意欲があるはずですが、型にはまらない取組があっても良いのではないのでしょうか。
委員	P28に「海の駅」を入れておいてはどうでしょうか。江田島市には2箇所あります。 サイクリングの拠点としての「自転車の駅」の方向も考えられます。
会長	今日の意見をもとに、基本構想案を事務局で点検してもらうようにします。 さらに修正していただき、それを私の方で最終確認することについて、一任していただきたいと考えています。 また、今日の基本構想案の基本理念、方向性といった大枠の合意もいただきたいと考えています。
委員	全員同意
会長	ありがとうございます。 事務局と調整し、最終確認します。 その他として、何かありますか。
事務局	次回の審議会は、2月上旬に開催する予定です。 2月の議会に諮る予定であり、それに合わせて答申をいただきたいと考えています。
会長	この審議会は、江田島市の行政を監視する役割もあると思いますので、今後ともよろしくをお願いします。
事務局	4 閉会 以上をもちまして、第2次江田島市総合計画審議会第3回会議を閉じたいと思います。 ありがとうございました。